



ほけんだより 12月号



令和2年12月1日発行
かぐる杜の保育園
看護師 大江温子

年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。生活リズムが崩れがちで感染症も流行る時期ですが、子どもたちにとってはクリスマスに年越しと、お楽しみがいっぱいの月ですね。コロナウイルスも再流行していますので、体調管理には十分気をつけて楽しくお過ごしください。

コロナウイルスに関する対応について

寒くなってきたと同時に、コロナウイルス感染症の陽性患者が急増してきました。当園でも、手洗いや手指消毒、玩具の保育室の消毒を強化しています。

つきましては、以下の場合、速やかに保育園まで連絡の上、お子様に関しましては、登園の自粛をお願いいたします。

- 同居者が、コロナウイルス感染症の濃厚接触者に特定された場合。
- 同居者が、コロナウイルス感染症疑いのため、PCR検査を受けることになった場合。

早期の対応をするために、ご理解とご協力をお願いいたします。

やけどにご注意

寒くなり、暖房器具や加湿器（スチーム式）を使用しているご家庭もあるかと思えます。子どもは、ちょっと目を離れた瞬間に、大人が予想もしない行動をとることがあります。子どもの手が届かない場所に置いたり、柵を使用したりと安全に配慮しましょう。

薄着のおねがい

●肌着は半袖かタンクトップのものを日中、手をしっかり洗うようにしています。子どもは力が弱く、長袖の肌着だと服の袖をうまく捲れないのでお控えください。

●裏起毛は保育園では不向きです。園内は空調で暖かくしてあります。ひよこさぎ組は床暖房もあり更にぽかぽかです。裏起毛の衣服は室内で遊ぶ子どもたちには暖かすぎるため、体に熱がこもってしまいます。一般的なトレーナー・ズボンの着用をお願いします。外遊び用には防寒の上着をご準備ください。



ノロウイルスに要注意

ノロウイルスは、通常10月から2月頃まで感染のシーズンが続きます。ウイルスは二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染よりも、感染者の嘔吐物、排泄物からうつる2次感染のケースが多いようです。

保育園でも、毎年胃腸炎として流行しますが、大概はノロウイルスによる感染です。感染すると、激しい下痢や嘔吐、腹痛があり、発熱も伴うこともあります。今のところ、感染予防のワクチンや治療薬は開発されていないため、症状が出たら水分を補給しながら回復を待つしかありません。

<予防>

- 二枚貝は加熱して食べる
- 食事の際にはせっけんでよく手を洗う（ノロウイルスを殺すことはできないが、手から洗い流すことができる。）

症状が回復しても、その後約1か月間、排泄物とともにウイルスが体外に出るといわれています。発症から1か月ほどは排泄物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は塩素系の消毒剤で消毒しましょう。